

今、あなたと生きて



みかみ ちえ / 1987年、毎日放送に入社。95年、琉球朝日放送の開局と共に沖縄に移住。キャスターを務めながら多数のドキュメンタリーを制作。12年の初監督映画『標的の村』公開後、14年にフリー転身。15年『戦場ぬしみ』、17年『標的の島 風かたか』、18年『沖縄スパイ戦史』（大矢英代共同監督）公開。来春に最新作『沖縄、再び戦場へ』（仮題）を公開予定。

映画監督・ジャーナリスト **三上智恵**さん

第1回 沖縄を戦場にしない

南西諸島をはじめ軍事要塞化が急激にすすむ沖縄。島を再び戦場にしないために、沖縄の今を伝える三上監督にお聞きします。

戦場にしないための映画

これまで一貫して沖縄を戦場にしないための映画を撮ってきたつもりです。3作目の「標的の島 風かたか」（2017）までは、沖縄のアメリカ軍基地や軍事要塞化の問題、これからも島を戦争に使うということと対峙しなくてはならない沖縄の人たちの、戦中・戦後変わらない苦しみを運動の現場でがんばっている人たちを中心に描いてきました。

沖縄県民の人権は、常にこの国にとって都合のいい「国を守る」政策の犠牲になってきました。なぜ普通にこの島に暮らすことが許されないのか。闘いたくはなくても、生活を守るため、子や孫に戦争の島を手渡したくないためにがんばって抵抗している人たちがいる。それを描かないと、日本という国が無意識で誰かを苦しめ続けていることに気づいてもらえません。国防を理由に虐げられ闘っている人たちがいて、しかもそれは民主主義